

平成 26 年度

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0272501503		
法人名	株式会社 東北産業		
事業所名	グループホームよこはま荘		
所在地	〒039-4142 上北郡横浜町字上イタヤノ木438-5		
自己評価作成日	平成26年 9月10日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人青森県老人福祉協会
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20番30号 県民福祉プラザ3階
訪問調査日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

四方を山や海に囲まれた自然豊かな環境に恵まれた場所にあり、施設からは季節が感じられる花や木々の景色がいつでも見ることができる。施設に面している通りは地域の方の散歩コースともなっており気軽に立ち寄れる場所に位置している。また地域に根ざした施設づくりを念頭にボランティア、民生委員の方々とともに密に連携しより過ごしやすい施設になるよう取り組んでいる。入居者には受容、傾聴、支援の本来の理念を忘れることなく、安心して住みなれた地域で生活できるよう努力していきたいと思います

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通じて、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念をホール内掲示している。スタッフ一同同じ意識を持ち業務に取り組んでいる		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の皆さんがいつでも気軽に来荘できるよう地域の会合で周知している。地域の行事やイベントに積極的に参加している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	利用者家族や民生員を通じて地域にお住まいの認知症の方の情報をいただき相談やアドバイスができる体制を整えている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回運営推進会議を開催している。利用者、利用者家族、役場、民生委員等参加し施設の健全な運営向上の為に様々な方面からの意見交換を行い積極的に取り組んでいる		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	月一度役場に施設利用者状況等を報告している数か月に一度役場に各施設の管理者やケアマネージャー等が集結してケアマネジメント会議や意見交換を行い実情等を報告している		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束排除宣言を掲げている。身体拘束についてのマニュアルを準備して職員がいつでも閲覧できるようにしている。自動ドアは手動として日中は解放している。ベッド柵等の使用についても全体会議等で周知している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の防止については施設内研修で年に一度周知して業務に取り組んでいる		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護については研修に参加し必要な知識を習得し施設内研修で周知している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約等については管理者が行い入所等に係る事務手続きや説明を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に利用状況を報告し家族にはいろいろな意見を話しやすい雰囲気づくりに心がけ気兼ねなく意見や要望を話していただき家族や利用者から要望等は月一回の全体会議で検討し運営に反映させている		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議と全体会議を開催し職員間で意見を交換してその結果を翌月に本社に報告している		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年二回の人事考課を実施自己評価や面接等で評価し賞与等に反映している		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内外の研修に積極的に参加させ自己啓発やスキルアップできるよう取り組んでいる		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者については同業者との交流は積極的に行う機会が多く職員についても今後は積極的に他施設との交流や勉強会に参加できるよう取り組んでいきたい		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所決定後は事前にご本人の情報を十分に収集し全職員にも共通理解してもらい日々の生活では寄り添いながら受容、傾聴、支援を心がけ信頼関係を気づきつつ安心して生活してもらえるよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所時に当ホームの概要等を家族に理解していただきその上で家族の要望等を聞くことで安心してサービスを利用してもらう		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前から家族、施設、ご本人、関係業者、公的機関等交えて十分に話し合える場を設けることで安心してサービスを受ける体制を整えている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事はお願いし出来ない事はさり気なく補い本人の自立心とやる気を引き出せるよう取り組んでいる		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月家族にお手紙として生活状況、身体状況、受診結果等を報告し、事前に行事等の情報も記載し参加を働きかけている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みのある散髪屋に出かけたり家族を通じて昔からの友人等に連絡していただき気兼ねなく来荘してもらうよう働きかけている		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	特技や出身地等共通することを見出しその時代の生活を共有できるように働き掛けながら利用者同士が仲間となって生活できるように配慮している		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後に病院や他施設を利用しても家族の相談等があれば管理者が対応する体制を整えている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族から昔ながらの生活を聞きその人らしさを把握し日々の生活の会話から思いを読み取りこれまで生きてきた過程を大切に強制することなく過ごしていただくよう努めている困難な方については表情等で読み取っている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時家族やケアマネ等からの情報や本人とのさりげない会話の中から思いを読み取りサービスに繋げている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の中から知りえた情報や思いを把握し引き継ぎや記録等にて把握している		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ユニット会議や個人カンファレンス等の開催で課題やケアの在り方を検討し結果を介護計画に反映し家族面会時に確認してもらう		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に日々の様子を業務日誌、カードックス、ケース記録を活用して経過観察し記録に残している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	遠方に住んでいる家族が面会に来た時には施設に泊まっていたり交通手段がない家族には迎えに行ったりしている		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	不定期ではあるが学生や民生委員のボランティアを受け入れたり地域のイベントにも積極的に参加し地域住民の方々とのふれあいと大切にしている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には地域内にある診療所にて受診し健康の管理をしている体調を崩したときには紹介状をいただき近隣の総合病院で症状が安定するまで		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師は不在のため緊急時は併設の施設に常勤している看護師に状態を判断してもらい救急搬送に繋がったりしている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族と共に医師からの治療計画を聞き意見を兼ねて入院中の経過を家族と一緒に聞くようにして家族には安心していただく家族が遠方にいる方にはその都度電話などで状態報告している早期に退院できるよう医療連携室と密に連絡を取って情報の共有に努めている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期については療養型病床を併設している病院と連携し専門の看護師を派遣していただき状態を把握して安心して治療等を継続的に受けられるような体制を整えているGHで対応に限界があるため状態に応じては多様に対応が可能な施設の紹介を行っている		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	二年に一度全職員を対象に救命講習を開催し緊急時の対応が迅速にできるよう努めている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に二回避難訓練を実施している同事業所内が協力体制を取り災害時は他事業所からもお応援に駆けつけて救命行為を取ることになっている特に夜間の火災訓練に重点をおいているそれ以外の災害についても全体会議等で職員に周知している		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	名前はフルネームで呼び居室に入る時には ノックしてから声をかけ入るようにしている自 尊心に配慮して取り組んでいる		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自 己決定できるように働きかけている	出来ること出来ないことを選択していただき 出来ることを無理なくいつまでもやっていた だけの環境を整えている日常生活の中で職 員が寄り添い思いを聞きいれ意見や要望を 叶えられるようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのよう に過ごしたいか、希望にそって支援している	その人なりのペースにあわせて生活できるよ うにしている食事に時間がかかる方はゆっく り食事していただき風呂が好きな方には時 間を気にせずゆっくり入浴していただく		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	地域の理美容師が月に数回出張して散髪し たり遠方から入所している方でも昔から馴染 みのある理容店まで出向いて納得できる髪 型にしている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好み や力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備 や食事、片付けをしている	季節の旬な食材をふんだんに取り入れている 地元の食材にもこだわり食べなれた食事 を提供している		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応 じた支援をしている	献立表を準備して手作りの物を提供している 水分も果物などからも取れるよう工夫してい る水分補給の一日の目安は1500mlとしてい る		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケア をしている	毎食後義歯の洗浄を行いイソジン入りの水 でうがいを行っている必要に応じて橋本歯科 からの指導を受けることができる		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々にあった紙おむつやパットを使用しその人の排泄パターンを把握その人なりの時間におむつ交換トイレ誘導を行っている行動に制限がある方についてもポータブルを使用しおむつに頼らない排泄に努めている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	果物やヨーグルトを毎食摂取水分摂取量にも気をつけ自然に排便が促されるよう努めている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた支援をしている	一人ひとりが時間にとらわれずに入浴できるよう配慮している日中の時間帯であれば午前でも午後でも入浴できるよう職員も常に準備している		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は活動的に体を動かしたり歌や踊りをして楽しみ夜間はスムーズに眠れるよう促している供用スペースでテレビを楽しみたい方は起床の妨げにならない程度に自由に夜間のテレビを楽しんでもいただけるよう努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診記録のファイルに個人の病状に対する個別の服薬の情報が記載されており何時でも職員が確認することができる薬の変更等についても分かりやすく書かれている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人が行っていた地域の役割や生活の中で長年行ってきた作業等を思い出し日々の生活で活かしながら過ごしていただく		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近場であれば希望が会った時に随時職員が付き添い出かけている不定期ではあるが目的地を決めずに利用者が普段会話の中で口にした場所に行くこともある北方面は大間南方面は名川まで出かけている		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分で管理できる方については1000～3000円位を持っていただき買い物に出かけたときに自由に買い物しているそれ以外の方は家族か施設で管理している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の訴えがあれば自由に家族に電話することができる毎月月初めに前の月の生活状況等を手紙にして家族に送り生活状況が分かるようになっている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースには季節が感じられる装飾したり自室には家族の写真や行事の写真を掲示している居室内の窓は二重になり窓ガラスと障子風になっているカーテンの希望があればいつでも取り付けことは可能		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用スペースにはソファを置いたりテーブル、椅子を配置春から秋にかけてはテラスに長椅子を準備しておりテラスで自由に談笑したり季節を感じられるスペースを設けている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	昔から使いなれた家具などを持ち込み出来るようにしている個々の居室は本人の希望を聞きベッドやテレビの位置を配置して過ごしやすい空間にしている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレ、浴室等に手すりを設置している		